

会議名	平成 29 年度 第 8 回 鎌倉ケアマネ連絡会役員会				
日時	平成 29 年 11 月 13 日 (木)18:30~19:30				
場所	鎌倉福祉センター 第三会議室				
司会	小澤	書記	小林	出席者	佐藤秀、小沢、鈴木ちえ、宮谷、北村、宮田、久下杉原、冨澤、冨永*、吉川、樽井、小林佐々木

1. 鎌倉市より連絡事項

10/27 医療・福祉連携会議開催。障がい福祉の事例で難しいテーマだったが、それぞれの視点での意見があり良かったと思う。次回はH30年1月24日 MSWより事例提供「退院時事例」の予定。

2. 議題

広報部会：かわら版発行済み 裏面「鎌倉市障害者支援協議会 権利擁護・相談支援部会より」の同封は村上氏の承諾得ている。

研修部会：

☆12月7日 第四回 研修案内送付済み。

医師会よりアンケートの配布の希望あり。内容がケアマネ連絡会と重複している所が多いので一緒に配布予定。集計は連絡会で行う。

*大塚製薬より 10分程度、OS1の説明がある。

*横須賀・三浦地区ブロック 訪問看護連絡協議会 Ns.の活動内容・啓発活動の報告あり。

当日：司会進行：鈴木氏

機材：久下氏

集合：17:30 グループワーク

☆三者合同研修会：11/16（木）最終打ち合わせの予定

開催：H30年1月26日（金）鎌倉市福祉センター第一第二会議室・時間は未定・講師：坂本氏

12月初旬に案内送付予定。「根拠ある目標を設定しよう」デイより親睦会企画出席依頼あり。

☆地域資源の紹介（地域包括支援センターを招いて）：3月予定。包括へアンケートを記入依頼する為、メーリングを流したが添付を開けず、PDFで再発信の予定。各包括に知っている資源を伺う為、書式を統一した方が回答に差が出ない。➡包括はどうやってその資源を探し出したのか？又どんな風に作られたのか？どうサポートしているのか？等聞いていきたい。ナビや暮らし安心ガイド以外にどんな資源が必要か？

➡包括に協力してもらい、共有・意見交換できる場が必要

企画書・目的の狙いは何処にあるのか。インフォーマルサービス（ボランティア）もどこまで公にしているのか？➡資源元にも承諾を得たい。

ケアマネが求めている資源と包括の知っている資源にズレがある？役所も知らない資源もあり、地域性や住民の考え方、習慣等が資源として反映している。サークル活動みたいなボランティアもあり、利用者支援に繋がらない事もある。

☆定期巡回：ケアマネが使い難い、使い方が分からない？訪問看護と連携しているの、他の訪問看護が使えないので使い難い。

☆管理栄養士、ターミナルケア時に精神的に支えてくれるボランティア等。在宅で頑張っている家族のサポートをしてくれる資源などある？

調整検討部会：11/22 施設ケアマネ部会 参加者の把握はまだ出来ていない。

通所介護事業所にも声をかけている。

WAM 助成事業

* 地域会議を地域で開催。

11/15 腰越学習センター 11/20 玉縄

12/4 鎌倉市福祉センター 12/14 鎌倉芸術館 1月の開催地未定（深沢ローゼン？）

* H30年3月3日シンポジウム予定 ターミナルケアについて 冊子制作

「フィルムフォーラム・生と死の瞬間まで生き抜く・生きたい」1.5～2時間程のドキュメンタリー

* どのような生き方、死に方をしたいか話し合っておく必要があるのではないか。

H30年2月28日専門職対象に研修を予定している。

4.他

* 基幹相談支援センター 栗田氏より依頼があった勉強会について

メーリングで12月8日（16：30）の出欠席の確認。

* 11月10日医療・MSW意見交換会開催。今年初めて出席した人が6割程。今後も継続して行く。

次回開催予定 平成29年 12月 13日（水）18：00～